

2023年3月2日

第一石産運輸株式会社の「SDGs宣言」策定支援について ～地元企業のSDGs達成に向けた取組みをサポート～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、第一石産運輸株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 越智 良幸）の「SDGs宣言」策定を支援いたしましたので、お知らせいたします。

当行では、2021年10月より、地元企業の皆さまのSDGs経営を応援する伴走型サービスとして「むさしのSDGsコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づく「SDGs宣言」策定となります。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのSDGsの取組み支援などに注力してまいります。

《SDGs宣言策定企業の概要》

項目	内容
企業名	第一石産運輸 株式会社
代表者	代表取締役社長 越智 良幸
所在地	東京都千代田区飯田橋2-13-7三喜ビルディング
業種および事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・砂利、砂類、石材、粉碎類、鉱物、岩石採取並びに販売業 ・セメントの販売及びセメント二次製品の製造並びに販売業 ・土木建築工事の測量、設計、施工の請負及び受託業 ・一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業 ・産業廃棄物処理業
設立	1948年11月11日
宣言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自社及び事業の環境負荷を低減させていく ・社員が生き生きと働ける職場づくり ・「ダイバーシティ経営」の実践と推進 ・地域とのつながりを高め地域貢献を更に推進する

以上

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



報道機関からのお問い合わせ先
ソリューション営業部 コンサルティング営業室 坂本 芳文
TEL (048) 641 - 6111 (代)



2023年2月16日

第一石産運輸株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 越智 良幸

SDGsの達成に向けた取り組み

自社および事業の環境負荷を低減させていく

- ・省エネ効果の高い建設機械、ダンプトラック並びに社有車を順次導入する他、再生可能エネルギー（太陽光発電）を活用し、CO2排出量を出来る限り抑制する骨材の生産と販売を目指していきます。
- ・有資源に依存しない製品の比率を高めていきます。例えば、建設発生土の有資源化や河川浚渫土砂のリユースなどのシステム構築を同業者組合と行政との間で協議していきます。



【指標】

2021年度 埼玉県内事業所のCO2排出量 5,602 t ⇒ 2030年度 5,490 t (▲2%)

社員が生き生きと働ける職場づくり

- ・働き甲斐のある環境と働き方改革を実現させ、社員の物・心両面の充実感ある生活（ワークライフバランス）を追求していきます。
- ・環境整備に関するロードマップを作成し、具体化していきます。
- ・スキルアップ制度や現場職へのマイスター制度を導入し、社員が長く勤めたいと思う会社を目指します。



【指標】

2021年度 年次有給休暇の平均取得日数(埼玉県内事業所)8.3日 ⇒ 2030年度 10日 (+1.7日)

ダイバーシティ経営の「実践」と「推進」

- ・誰もが安心して働ける制度や職場環境をつくり、女性の意見を積極的に取り入れるとともに、女性の活躍を推進していきます。
- ・65歳以上の高齢者の雇用を進めていきます。



【指標】

2021年度 女性従業員数(埼玉県内事業所) 6名 ⇒ 2030年度 9名 (+3名)

2021年度 65歳以上の高齢者の雇用人数(") 2名 ⇒ 2030年度 5名 (+3名)

地域とのつながり高め地域貢献を更に推進する

- ・地域社会との共存を目指し、社会貢献活動の推進として、街の美化活動「彩の国ロードサポート」を実施していきます。
- ・地域の子ども達の工場見学を受け入れていきます。(重機試乗体験、イベントの開催等)



【指標】

2021年度 彩の国ロードサポート活動の実施回数 ⇒ 2030年度
花園工場2回 小川工場0回 花園工場4回 小川工場4回 計8回